



社会新報

(岡山県連合版) 2012年6月 (号外)

社会民主党全国連合機関紙宣伝局(毎週水発行) 〒100-8909 東京都千代田区永田町1-8-1 TEL.03-3592-7515 1部180円月700円千160

岡山市北区弓之町5-7 Tel.086-226-1234

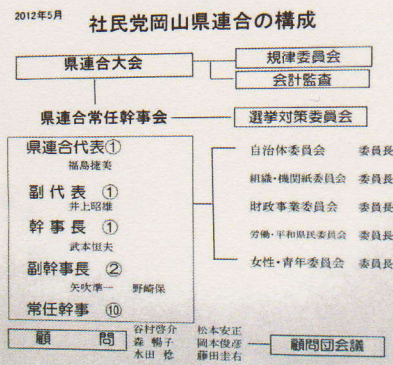
発行責任者 武本恒夫

http://www.sdp.or.jp/okayama/index.html e-mail: sdp_okayama@helen.ocn.ne.jp

「みえる社民党」を即行動に

党県連合は、5月12日の大会後、6月2日の常任幹事会ですべて「みえる社民党」の活動を開始しています。

大会後すぐに関係団体、マスコミなど28団体への挨拶



宣伝カー5000km以上走行、ポスター貼りにご協力を!

大会方針に沿って、街宣活動とポスター貼りの取り組みも進められ、6月に入って、宣伝カーは15日現在延べで527kmを走行、ポスターも100枚以上の貼出し。ポスターの自宅・周辺貼りにご協力をお願いします。



6月10日 岡山市北区で

「なぜ遅れる震災復興、東日本大震災から学ぶ」

社民党宮城県連合・代表 菅野哲雄

5月26・27日に開催した党中国ブロック活動者交流会での講演要旨(文責:事務局)

津波ガレキの集積所までの片付けは進んだ。鉄筋コンクリート建物の処理は置き場確保不足で遅れている。しかしガレキ処理は政府の日程が先にあつて無理に押し付けている。復興の遅れをガレキ処理問題に転化している。10年かけて地元処理が可能だ。本来は東電・政府の責任で、自治体と被災者の争いにされていくことに怒りも。被災地の跡地は土盛りしないと使えない。土盛り土地が落ち着くまでには数年かかる。

高所移転を見ると、沿岸400kmの海岸線に380ヶ所の古代遺跡がある。遺跡調査

大会補強意見を「方針」に追加します

委員会を設置し、党内的な準備態勢を進めています。大会で補強意見として出された「規制緩和のひずみを点検、問題点の掘り起こし」は「地域・職場に常に目を向け、民主的諸団体との交流・共闘を進める中で、点検、調査活動を強め、問題の発信、対策を地域と一体となつてすすめる。」の一文を「みえる社民党」方針に追加します。

「なぜ遅れる震災復興、東日本大震災から学ぶ」

社民党宮城県連合・代表 菅野哲雄

これまでの都市づくりを、経済優先から防災の観点で見直すこと。そのためにも過去の災害事例の検討が必要、また今の社会状況で復旧・復興をすすめる結果は被災者が犠牲になる。本場の復興・復興をやるには計画経済を基本に統一復興をしないといけない、と現地からの報告を結んだ。

岡山市へ質問書 介護保険料改定で内容はどうか

介護保険料改定は今年4月の4度目の改正が実施され、介護保険料は65歳以上の基準月額が5520円になり夫婦での保険料は1万円を超え、これ以上の負担には耐えられない状況になっています。また、今回の改正は「施設介護から在宅介護」を明確にしています。目玉は「24時間地域巡回サービス」の実施です。しかし、介護職員の労働条

件はいぜん向上されず、離職率が高いことが報告されています。岡山熟年者ユニオン(会長 稲谷齊一郎)は、岡山市に6月6日、介護保険料の引き上げに伴い、介護サービスを受ける側、提供する側双方にとつてどのように反映されるのか、現状の問題点について質問書を提出しました。今後、介護職員の定着率や労働条件改善、老老介護支援24時間介護の問題点など、介護保険制度について積極的に提言、要請行動を行なっていくこととしています。

岡山の報告をする武本幹事長



何

かおかしい、と思いつつ日々過ごしてしまうこと。凡人の所以か。そんな思いを吹き飛ばす出来事が続き、秋葉原から大阪と、すぐ忘れ去られていくのはそれだけ多いということか。考えることを避けはじめる。「単純」なコピーに納得してしまふのも、これまた凡人か▼でも、選挙で勝った人が民意の「全て」に、何か納得しなくても反論しなかつたら、「おかしい」という権利はない、という論理が大手を振るようになる。その「民意」そのものも存在しなくなろう▼「国民生活を守るために、原発も消費増税も」には何を考えるか。「普通にしてください」「普通ってわかりますよね」の単純なコピーは単純で分かりやすい。(の)

当面する活動日程

- 6月10日伊方原発再稼働阻止 愛媛県庁包囲行動・松山
- 6月20日自治研センターおみやま学習会(労金ビル)
- 6月27、7月2日 6・29岡山市民平和祭 天満屋地下(写真展)
- 7月16日(東京・代々木)「さようなら原発全国集会」
- ※参加希望は各支部連合へ
- 7月21日 原水禁平和行進 岡山市役所、妹尾支所
- 7月27日 平和行進 広島引継ぎ(笠岡、大門)